

本宮市橋梁長寿命化修繕計画 (令和4年度版)



平成大橋

令和5年3月

— 目 次 —

I. 様式1-1

※()は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

—国土交通省—
インフラ長寿命化
基本計画における記載事項

1.長寿命化修繕計画の目的	1	
2.長寿命化修繕計画の対象橋梁	4	1.対象施設
3.健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	7	2.計画期間
4.対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	9	3.対策の優先順位の考え方 4.個別施設の状態等
5.対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	16	5.対策内容と実施時期 6.対策費用
6.長寿命化修繕計画による効果	16	
7.計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	17	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期
及び修繕内容・時期又は架替え時期

III. 優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 本宮市の現状

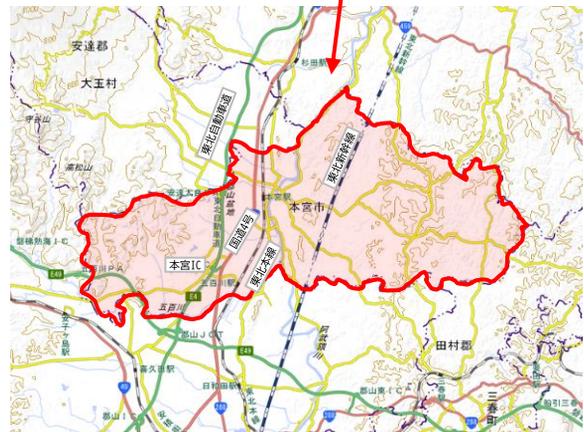
福島県中通りに位置する本宮市は、中心を阿武隈川が北流し、西側は安達太良山系の里山、東側は阿武隈山系の低い里山が数多く存在し、裾野には丘陵地や農地が広がり、人口29,986人（2023年3月現在）面積88.02km²を有しています。気候は、太平洋岸の表日本気候に属し、阿武隈山系の背後地に位置することから年間を通じて比較的温暖です。

福島県のほぼ中央に位置することから、古くから交通の要衝として栄え、現在も国道4号やJR東北本線、東北自動車道・本宮ICを有し、また郡山JCTに最も近接しているなど交通網が充実し、その利便性を生かして複数のニュータウンや多数の工業団地が整備され、大型企業も数多く誘致されています。

市には国道4号のほか、13本の県道が通っており、総延長902.4kmの市道は国・県道へアクセスする生活道路のほか農耕用の道路、及び大型企業の流通経路の一部として利用されています。

市道にかかる橋梁は172橋ありますが、JR東北本線や国道4号、東北自動車道を跨ぐ重要度の高い橋梁9橋を有していることや、阿武隈川に架かる100m以上の長大橋2橋を有している一方、5m未満の床版橋やボックスカルバートが管理橋梁の約半数を占めていることなどが特徴となっています。

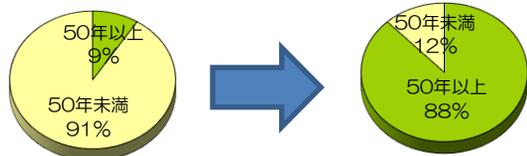
福島県内市町村位置図



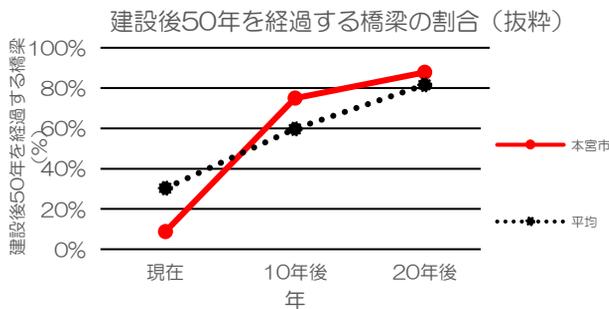
2) 背景

本宮市の管理する橋梁172橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約9%ですが、10年後の2032年には75%、20年後の2042年には88%と急激に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



2022年度 2042年度

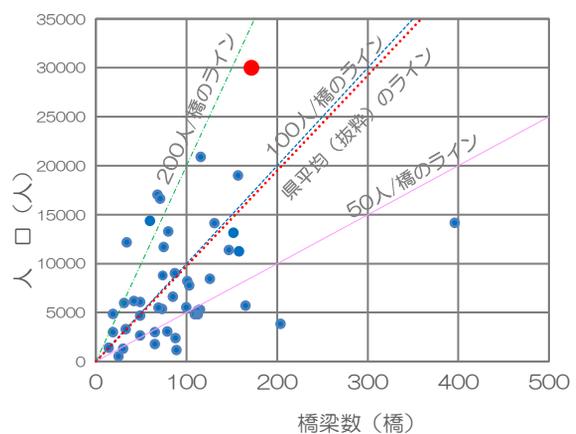


近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
本宮市	88.02	29,986	340.7	172	1.95	174.34
大玉村	79.44	8,758	110.2	74	0.93	118.35
二本松市	344.4	51,990	150.9	539	1.56	96.46
川俣町	127.7	11,385	89.2	147	1.15	77.45

人口は2023年現在

福島県内市町村（抜粋）の人口と橋梁数の関係

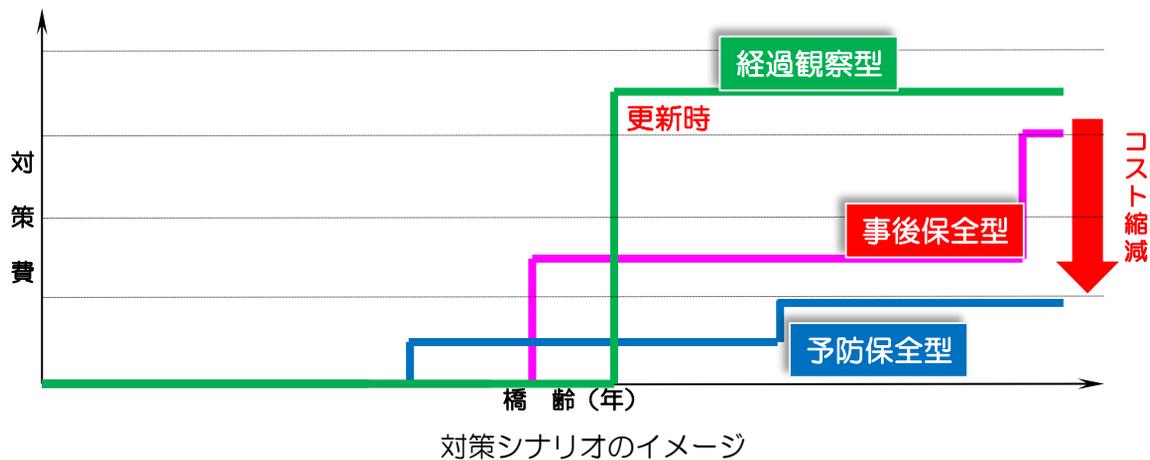
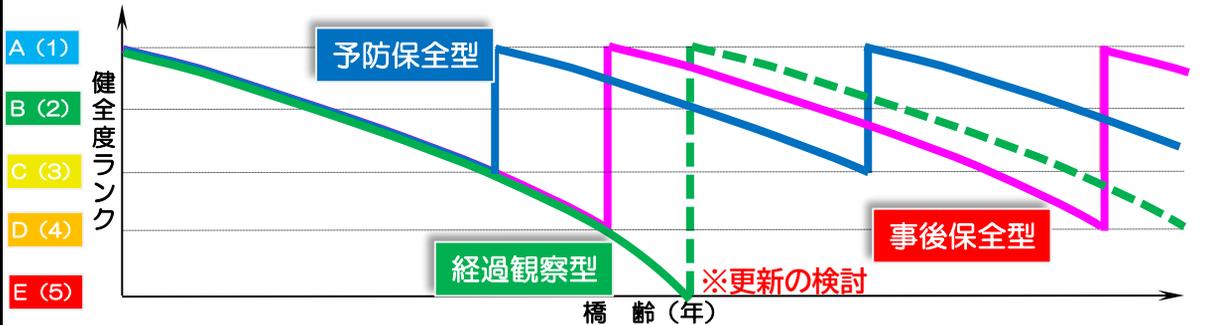


3) 目的

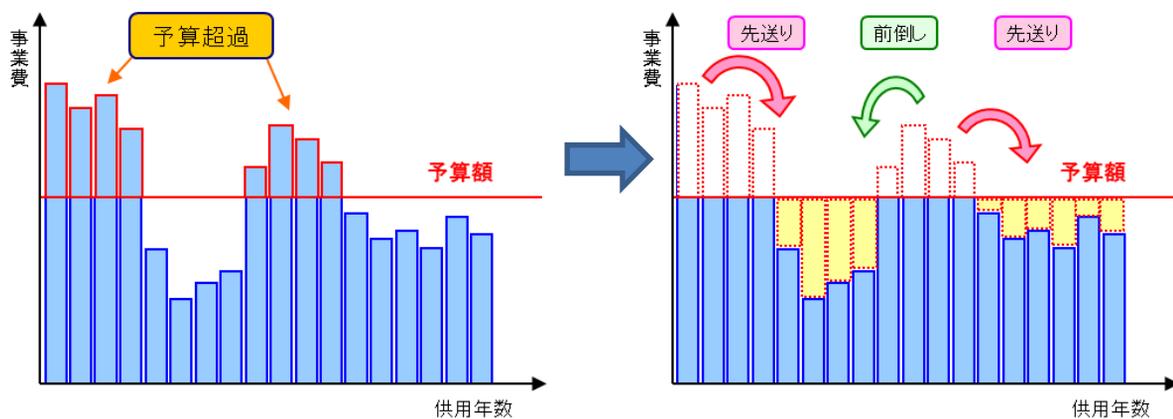
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで本宮市では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ



予算平準化のイメージ

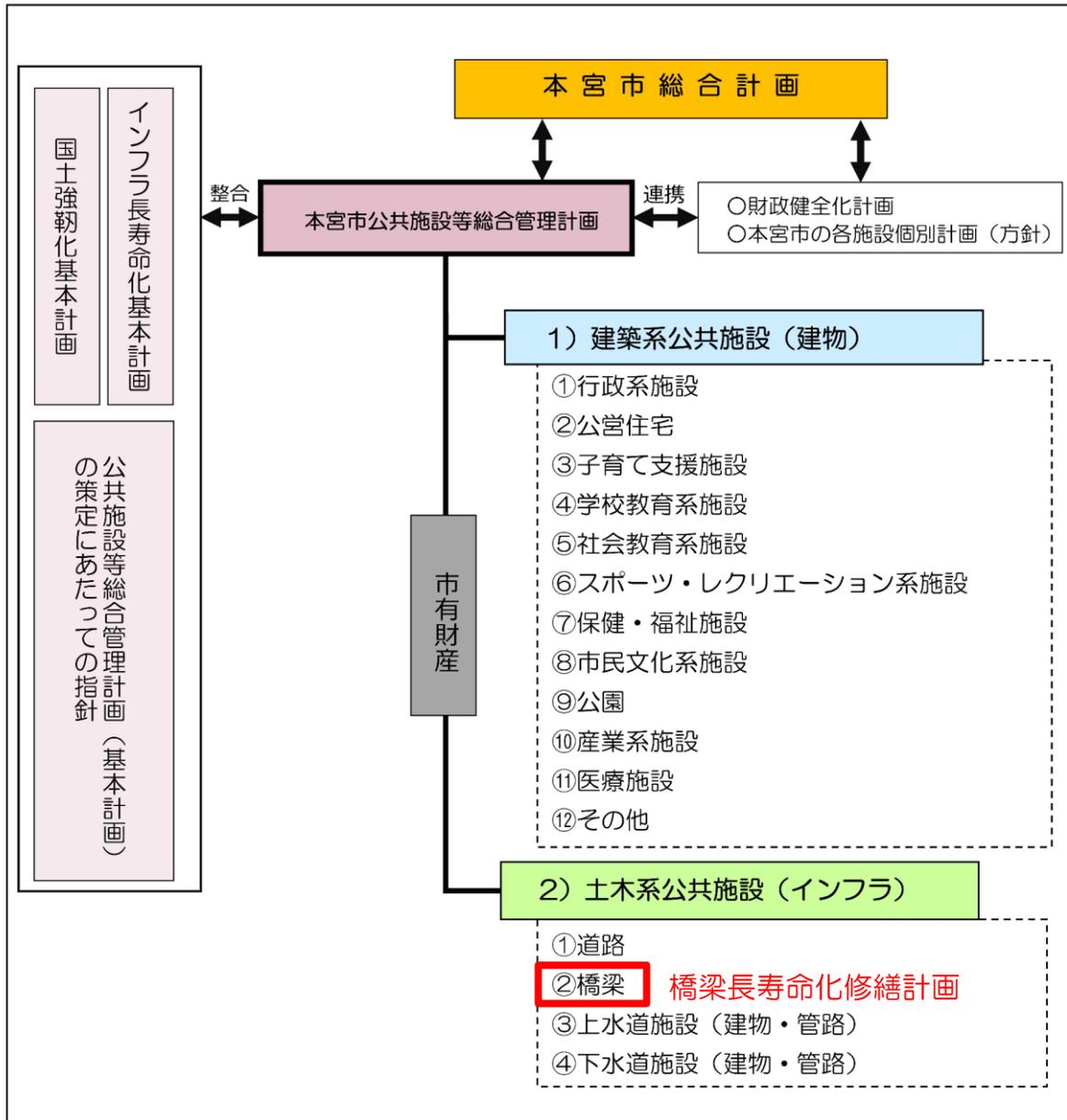
4) 計画の位置づけ

平成25年11月に策定された国の「インフラ長寿命化基本計画」は、あらゆるインフラを対象に、国や地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するための計画です。

本宮市の計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」などを踏まえて策定するものであり、今後各施設の個別計画の指針となるものです。

なお、本計画は、「本宮市総合計画」「財政運営計画」と整合を図り、各施設・事業目的における公共施設等の役割や機能を踏まえた横断的な内容とします。

本計画を実施するため4の詳細な取組については、今後、各施設所轄部門が中心となって策定する施設個別計画に委ねるものです。

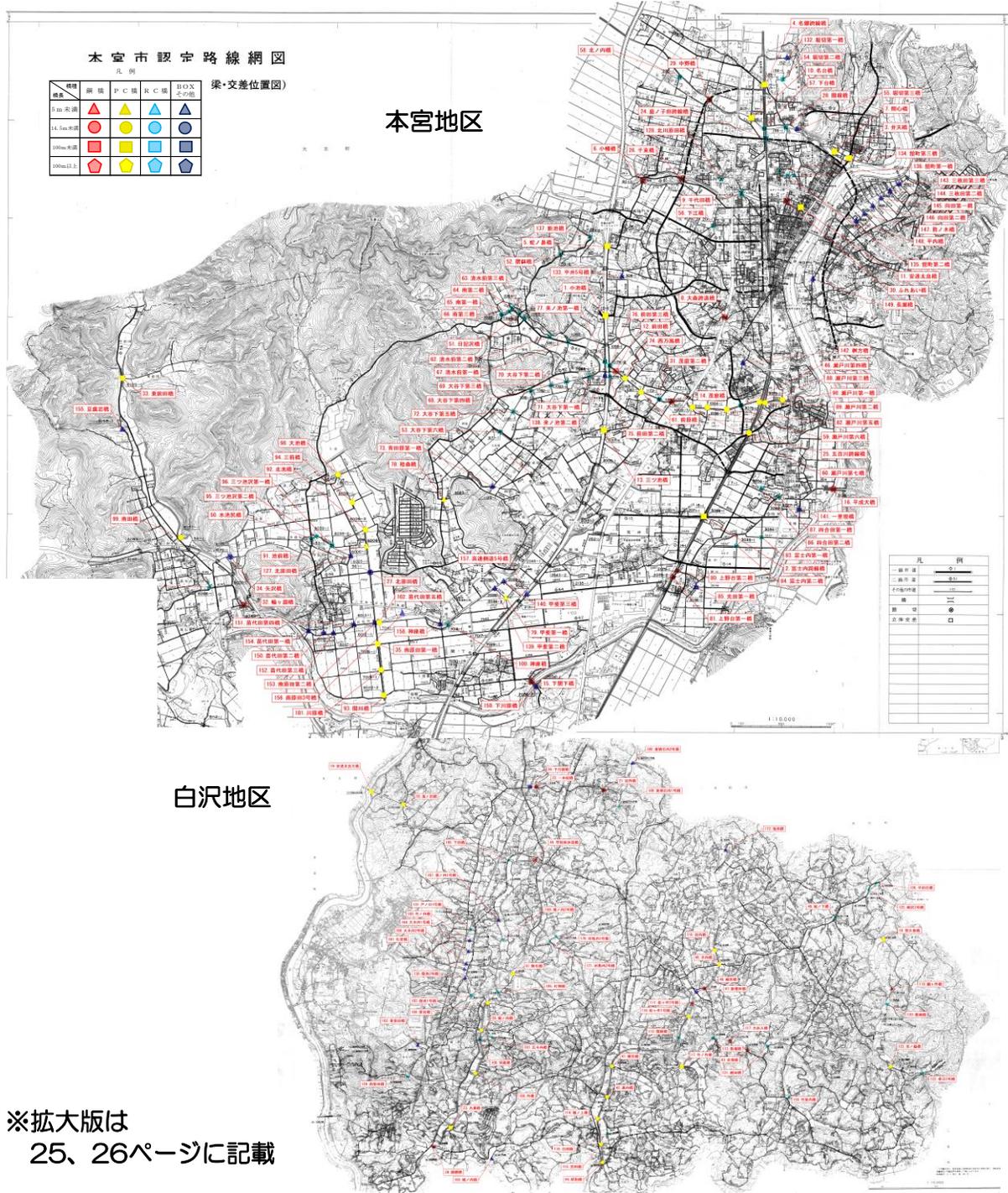


計画の位置づけ

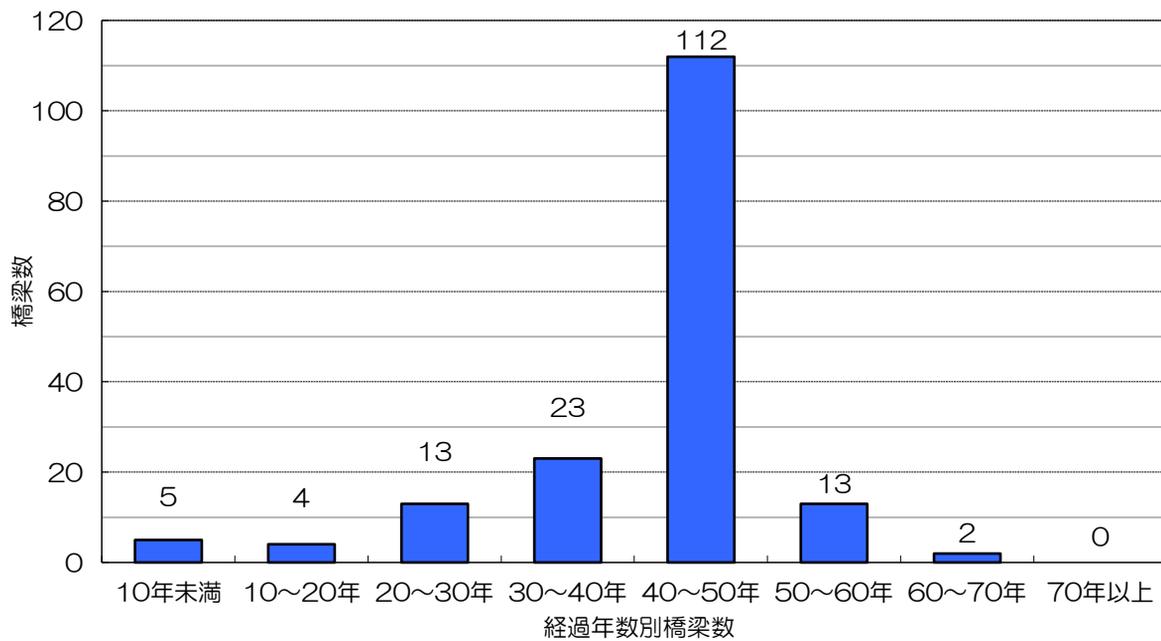
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	市道 1級	市道 2級	市道 その他	合計
全管理橋梁数	7	11	154	172
うち計画の対象橋梁数	7	11	154	172
うちこれまでの計画策定橋梁数	7	11	154	172
うち令和4年度計画更新橋梁数	6	11	28	45

※長寿命化修繕計画の対象：本宮市が管理する橋長2.0m以上の橋梁172橋を対象とします。
172橋の内、令和2～4年度に定期点検を実施した45橋について更新します。

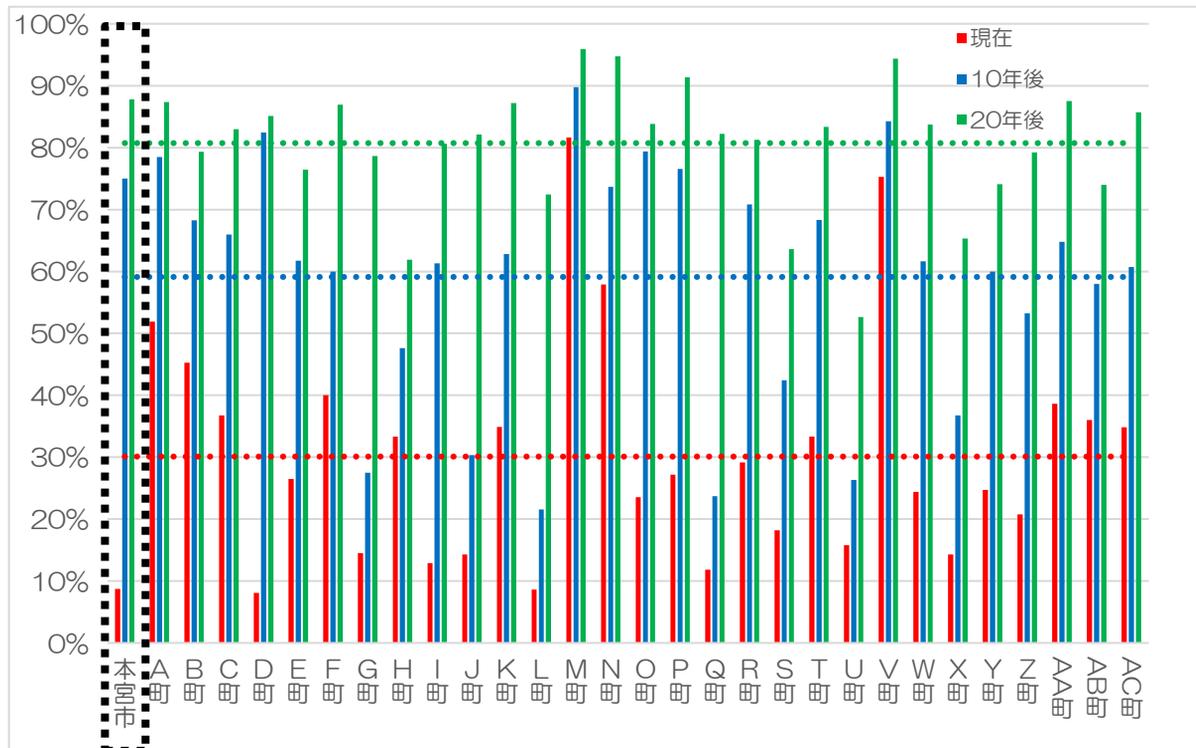


経過年数別橋梁数



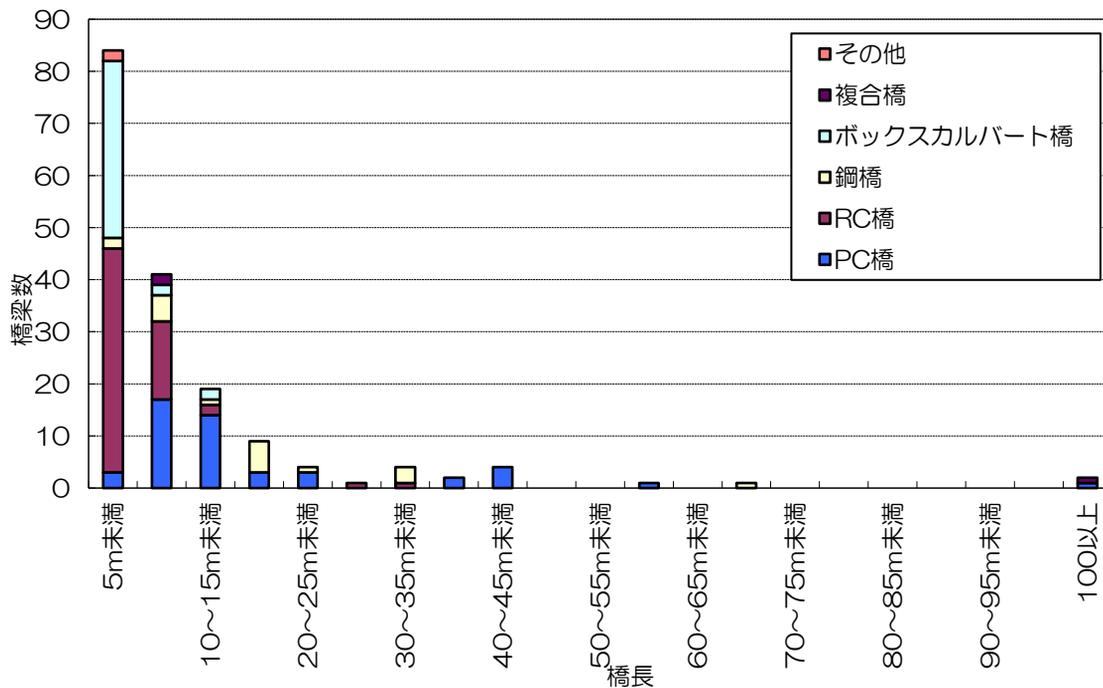
※長寿命化修繕計画で対象としている172橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は15橋あり、全体の9%を占めています。その内3橋は建設後60年以上を経過しています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合



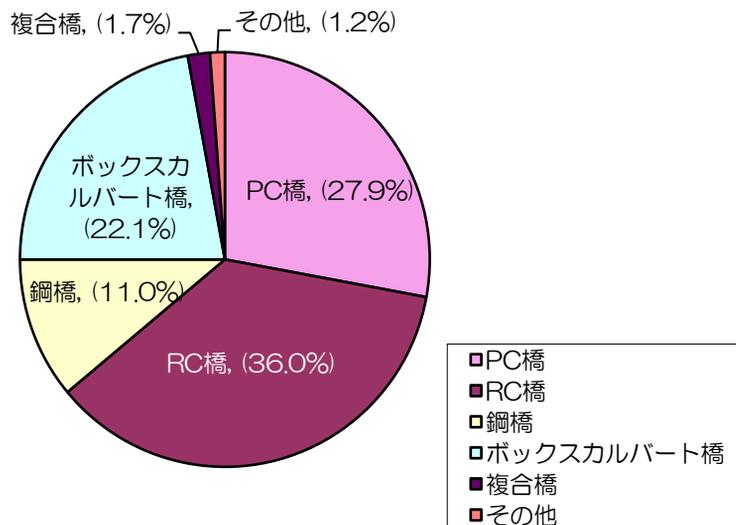
※点線：県内市町村の平均値
 現在 (30%) 10年後 (59%) 20年後 (81%)

橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている172橋のうち、15m以上の橋梁が28橋あり全体の16%を占めています。その内、2橋は200mを超える阿武隈川に架かる長大橋です。また、5m未満の橋梁は84橋あり全体の49%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではRC橋が62橋で全体の約36%、PC橋が48橋、ボックスカルバート橋が38橋でコンクリート橋が全体の86%を占めています。複合橋は鋼H桁+プレテン床版が2橋、鋼箱桁+鋼桁が1橋です。その他は、コルゲートアーチカルバート橋が1橋、石桁橋が1橋です。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

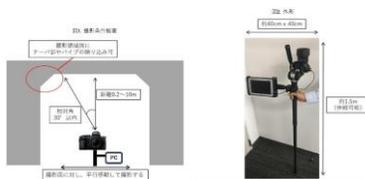
健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

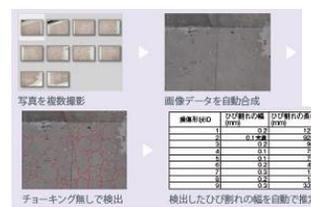
定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。また、今後10年程度で、市内全橋りょうで新技術の活用を検討し、従来技術と比較し1百万円程度削減することを目指します。その他、3巡目点検時(令和6年度以降順次実施予定)においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



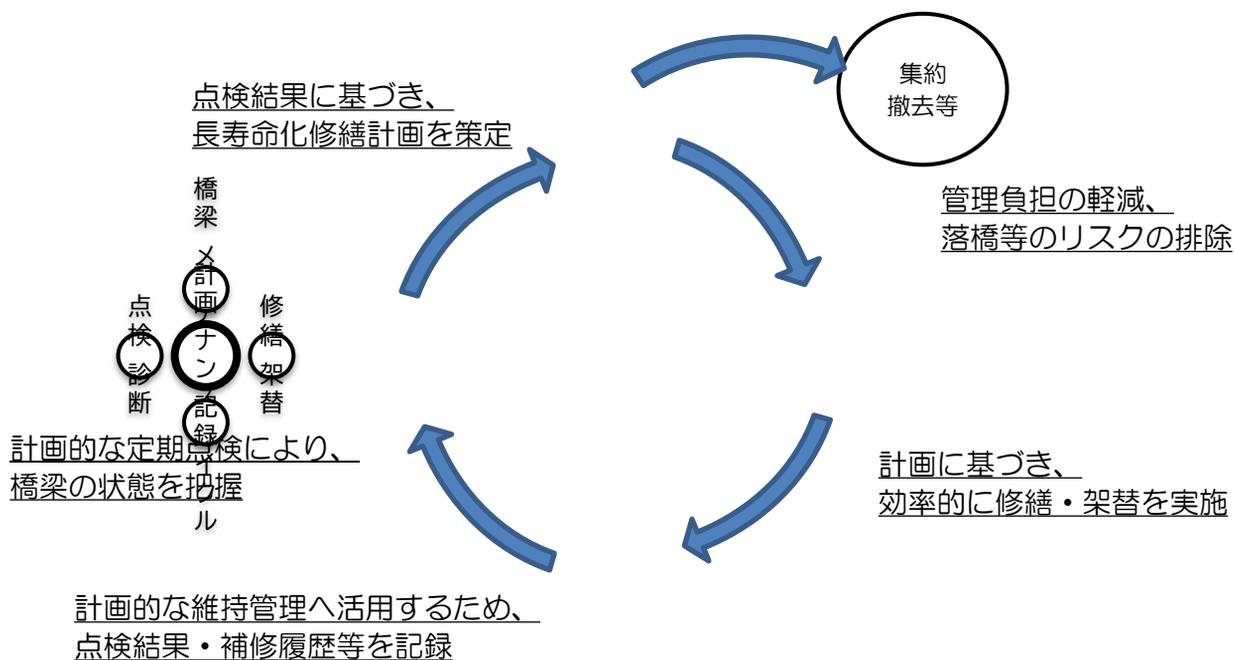
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：(出典)国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、道路作業員によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図



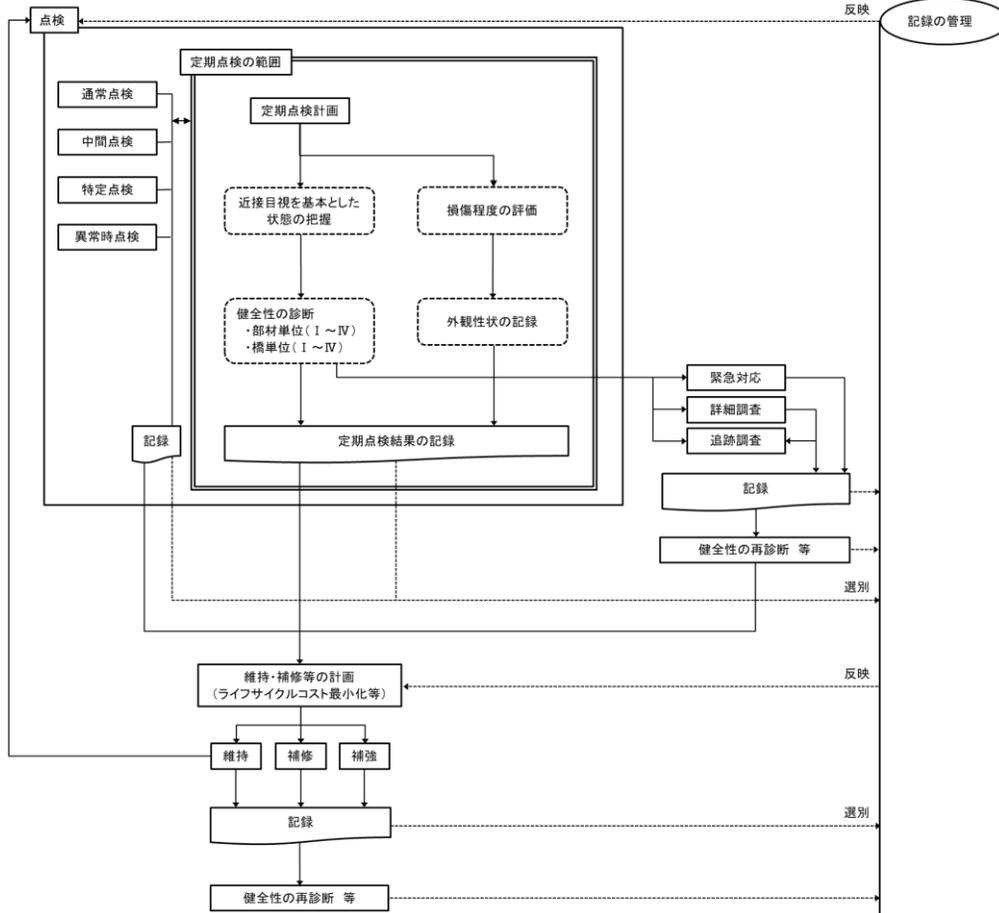
3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間：2023年～2072年)

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方

維持管理の手順（フローチャート）



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
(対策の優先順位の考え方)

本宮市が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の88%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S 本格予防保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A 予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B 事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C 経過観察型	・重要度該当0 かつ カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1.2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水溝 の清掃及び畜塵面の堆積土砂 除去を実施（費用は計上せ ず） ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保全 費用を橋梁ごとに 計上する ②：2年に1回 ⑤：5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

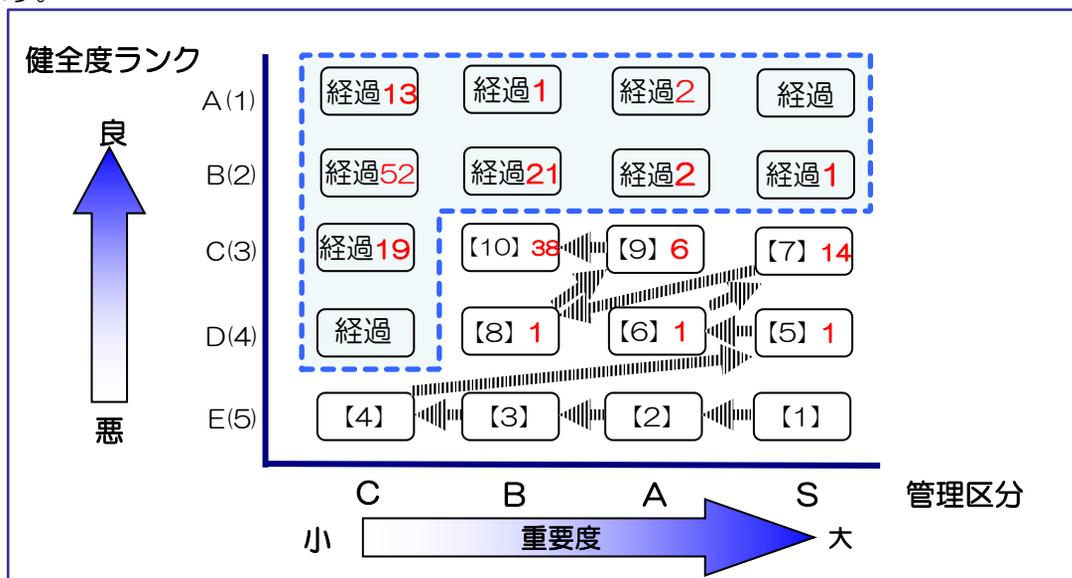
本宮市の管理する橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。

また、1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート（溝橋の定義外）への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めていきます。

※検討する橋梁：青田原第一橋、小山第一橋、五斗内橋

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



※数字は、該当橋梁数

3) 橋梁毎の点検結果（個別施設の状態等）

本宮市は平成26年～平成29年度に1巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年～令和4年度に2巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。（判定区分「Ⅱ」健全度「C」以上表示）

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	適 用
0028	関根橋	5.60	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.80	1984	39	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0024	鹿ノ子田跨線橋	28.10	4	RC橋	RC 箱桁	2.00	1961	62	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0005	蛇ノ鼻橋	55.00	3	PC橋	ラーメン橋	6.50	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき、漏水・遊離石灰、その他
0038	堀ノ内橋	7.90	2	PC橋	PC 床版橋その他	7.50	2000	23	支承	D(4)	Ⅲ	H27	D(4)	Ⅲ	R2	支承部の機能障害
0022	一本松橋	18.46	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	3.00	1974	49	その他（地盤）	D(4)	Ⅲ	H27	D(4)	Ⅲ	R2	変形・欠損、うき
0009	千代田橋	32.60	3	RC橋	RC T桁	4.00	1954	69	主桁	C(3)	Ⅱ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	ひびわれ、うき（補修済、再劣化）
0001	小池橋	41.60	3	PC橋	ラーメン橋	4.00	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、うき、その他
0019	安達太良大橋	206.40	3	PC橋	ラーメン橋	7.50	2003	20	主桁、橋桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅲ	R3	ひびわれ
0013	三ツ池橋	41.80	3	PC橋	ラーメン橋	5.00	1973	50	主桁、橋桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、うき、その他
0004	名郷跨線橋	42.40	1	PC橋	ボス騰中空床版	6.75	2012	11	横桁	D(4)	Ⅲ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ（一部補修済）
0016	平成大橋	263.00	4	鋼溶接橋	箱桁（不明）	6.50	2001	22	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ、その他、漏水・滞水
0036	下白旗橋	14.00	1	RC橋	RC車橋（BOXカルバート）	12.00	1978	45	頂版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	剥離・鉄筋露出、うき
0025	五百川跨線橋	10.90	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.40	1962	61	主桁	D(4)	Ⅲ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	剥離・鉄筋露出（補修済）
0008	大森跨道橋	32.00	1	鋼溶接橋	I桁（不明）	6.00	1995	28	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ、土砂詰まり
0021	岩角橋	17.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	5.00	1986	37	主桁、横桁	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0002	富士内跨線橋	20.70	1	PC橋	プレテンT桁	7.50	1991	32	横桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰、うき、定着部の異常
0045	学校前歩道橋	19.30	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	0.00	2003	20	支承	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	支承部の機能障害
0020	滝ノ沢橋	16.30	1	PC橋	プレテン中空床版	7.50	2003	20	下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0032	輪ヶ淵橋	16.30	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.66	1978	45	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ
0003	弁天橋	40.20	1	PC橋	ボス騰T桁	6.00	2001	22	横桁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ
0006	小幡橋	20.01	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	4.50	1971	52	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0014	茂庭橋	15.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	4.50	1973	50	床版	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0010	名台橋	23.60	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.25	1997	26	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ
0011	安達太良橋	37.40	2	PC橋	プレテンT桁	7.50	1990	33	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ
0043	京塚橋	8.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	8.30	1968	55	主桁、床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	ゆるみ・陥没、床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損（一部補修済）
0104	愛宕橋	10.45	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.50	1978	45	その他（護岸工）	A(1)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	洗堀
0039	耕綱橋	8.00	2	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	6.00	1968	55	主桁、横桁	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0035	南原田第一橋	8.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1978	45	主桁	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0081	上野台第一橋	5.10	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.50	1975	48	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰
0017	竹ノ作橋	15.40	1	PC橋	プレテンT桁	6.50	1990	33	その他（護岸工）	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	路面の凹凸、変色・劣化、漏水・滞水
0031	茂庭第二橋	5.50	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.90	1973	50	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	変形・欠損、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出
0041	柳密橋	11.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1980	43	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0044	昭和橋	11.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.10	1978	45	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	変形・欠損、漏水・遊離石灰、ひびわれ、うき
0040	根岸橋	12.80	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	8.50	1989	34	主桁、床版	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、変形・欠損、漏水・遊離石灰
0027	北原田橋	5.10	1	RC橋	RC車橋（BOXカルバート）	5.50	1982	41	主桁	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0089	瀬戸川第二橋	10.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化
0090	瀬戸川第一橋	10.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化
0117	大岩入橋	9.40	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.20	1975	48	側壁	C(3)	Ⅱ	H26	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ
0111	松ヶ作2号橋	8.50	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	0.90	1975	48	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H26	C(3)	Ⅱ	R4	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0033	東前田橋	9.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1979	44	支承	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化
0093	関川橋	9.40	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1981	42	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0088	瀬戸川第三橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	2.00	1973	50	床版	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出
0061	前原橋	8.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0106	羽黒橋	8.30	1	RC橋	RC桁橋（その他）	1.50	1971	52	主桁	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出
0058	北ノ内橋	5.50	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1980	43	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰、変形・欠損、洗堀
0042	黒内橋	12.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1981	42	床版	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0023	大黒橋	15.60	1	PC橋	プレテンT桁	8.00	1995	28	床版	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0060	瀬戸川第七橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0082	瀬戸川第五橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化
0029	中野橋	9.60	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	5.00	1980	43	下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R4	洗堀
0018	笹久保橋	20.80	1	PC橋	プレテンT桁	5.00	2000	23	その他（護岸工）	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	土砂詰まり

3) 橋梁毎の点検結果（個別施設の状態等）

本宮市は平成26年～平成29年度に1巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年～令和4年度に2巡目の近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。（判定区分「Ⅱ」健全度「C」以上表示）

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	事道 幅員 (m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	適 用
0046	瀬戸川第四橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損、洗堀
0059	瀬戸川第六橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1973	50	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ
0057	下台橋	5.70	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0074	西万風橋	8.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1973	50	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0096	三ツ池沢第一橋	5.55	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	50	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0054	堀切第二橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1980	43	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0066	南第三橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	1.50	1975	48	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0121	越田橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.00	1975	48	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H26	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出、ひびわれ、変形・欠損
0099	南田橋	12.55	1	PC橋	PC 床版橋その他	2.00	1975	48	主桁、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0037	除石橋	11.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.75	1989	34	下部工	C(3)	Ⅱ	H27	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰
0078	猪森橋	3.45	1	RC橋	RC桁橋（その他）	3.00	1973	50	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化、洗堀
0119	鴫ヶ作橋	4.65	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	2.20	1971	52	主桁、床版	C(3)	Ⅱ	H26	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化
0050	水池尻橋	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	50	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0095	三ツ池沢第二橋	4.50	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	50	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0148	平内橋	2.56	1	RC橋	RC鋼橋（BOXカルバー）	4.00	1990	33	側壁	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0065	南第一橋	3.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.50	1975	48	床版、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0086	四合田第二橋	2.95	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1975	48	床版	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出
0136	籠町第一橋	2.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰
0071	大谷下第一橋	4.50	1	RC橋	RC床版橋（その他）	4.30	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化
0137	新池橋	2.35	1	RC橋	RC 中空床版	1.50	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出
0135	籠町第二橋	2.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1980	43	床版	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0075	前田第二橋	4.50	1	PC橋	PC桁橋（その他）	3.00	1973	50	側壁	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0080	上野台第二橋	3.25	1	鋼溶接橋	H形鋼（不明）	1.50	1975	48	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H26	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰
0051	日記沢橋	3.90	1	RC橋	RC桁橋（その他）	4.00	1973	50	支承	A(1)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化
0083	富士内第一橋	4.00	1	RC橋	RC桁橋（その他）	3.00	1975	48	主桁、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0084	富士内第二橋	4.00	1	RC橋	RC桁橋（その他）	4.50	1975	48	主桁、下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0064	南第二橋	2.05	1	PC橋	プレテン中空床版	3.30	1975	48	支承	A(1)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変色・劣化
0134	籠町第三橋	2.25	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1975	48	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ
0100	神座橋	2.45	1	RC橋	RC 中実床版	2.00	1975	48	下部工	B(2)	I	H26	C(3)	Ⅱ	R1	変形・欠損

区分		状態	健全度 ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	16橋	9%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要はない	76橋	44%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	77橋	45%
			D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	3橋	2%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

4) 主要部材の損傷写真 健全度「D(4)」の橋梁



9.千代田橋：プレテンT桁橋
 (橋長：32.60m、1954年竣工)
 プレテン桁の橋軸方向びびわれ・うき
 ※雨水の浸入により、損傷は進行する可能性が高い。(迂回路有り)

4) 橋梁の補修・架替状況

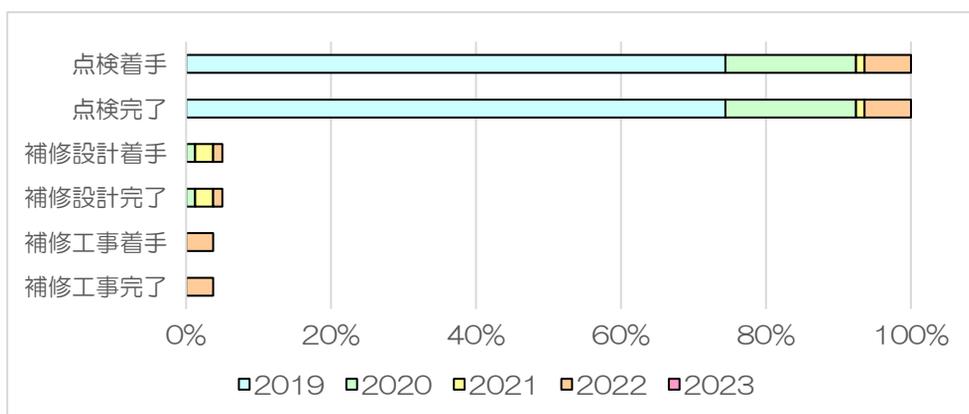
本宮市は、点検結果より早期対策が必要な判定区分「Ⅲ」及び予防保全対策が必要な判定区分「Ⅱ」と診断された橋梁のうち、9橋について、橋梁の延命化を図ると共に、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るために、平成25年度～平成29年度、令和2年度～令和4年度に、それぞれ変状の詳細調査及び補修設計を実施しました。

また、補修設計を実施した7橋を含む計8橋について、平成27年度及び平成28年度、平成30年度、令和4年度にそれぞれ補修工事を実施しています。

対象橋梁は、以下のとおりです。

●実施箇所（災害復旧等を除く）

- ・千代田橋（平成25年度補修設計、平成27年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」相当→「Ⅲ」）
- ・下関下橋（平成25年度補修設計、平成27年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」相当→「Ⅰ」）
- ・前田橋（平成26年度補修設計、平成28年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
- ・五百川跨線橋（平成27年度補修設計、平成29～令和元年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅱ」）
- ・矢沢橋（平成28・29年度設計、令和元年度架替工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」）
- ・千束橋（令和3年度補修設計、令和4年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」相当）
- ・ふれあい橋（令和3年度補修設計、令和4年度補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅰ」相当）
- ・名郷跨線橋（令和4年度一部補修工事済）（判定区分：「Ⅲ」→「Ⅱ」）
- ・蛇ノ鼻橋（令和2年度補修設計実施済）
- ・鹿ノ子田跨線橋（令和4・5年度補修設計実施中）



対象
N=172[橋]

対象
N=80[橋]
判定区分
Ⅱ～Ⅳ

橋梁メンテナンス事業 着手状況（定期点検2巡目）

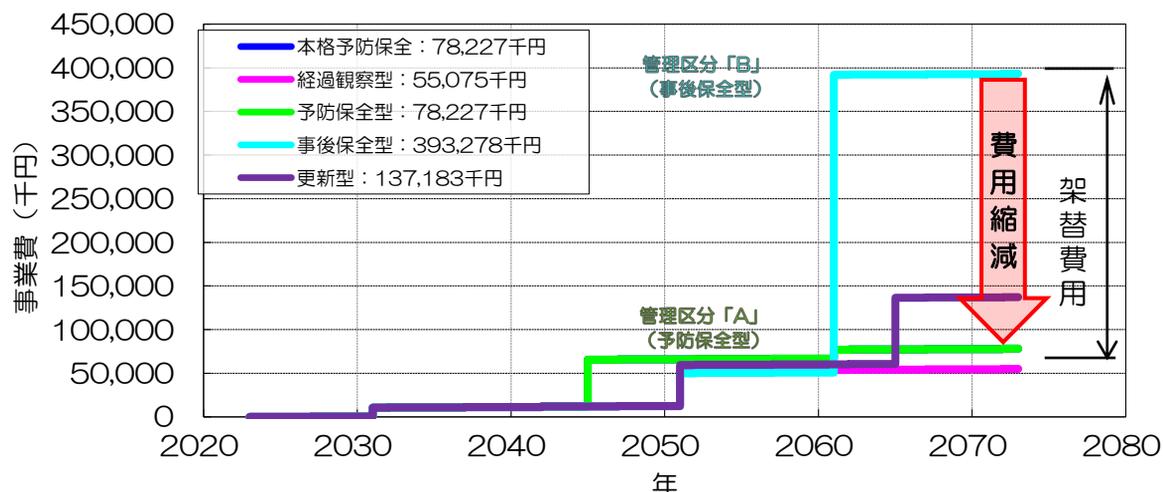
5) 修繕計画策定における管理区分を見直す橋梁

ふれあい橋、千束橋、茂庭橋、名台橋、千代田橋、輪ヶ淵橋、安達太良橋、竹ノ作橋、下関下橋、照心橋の10橋は橋長が14.5m以上の橋梁で、重要度に該当する項目が無しまたは1つであり、管理区分が「B」の事後保全型の橋梁となります。

事後保全型の橋梁は計画上の寿命設定が60年であり、下表に示す対象橋の例では架け替えのため2061年に費用が増大します。これを寿命設定が100年の管理区分「A」（予防保全型）に変更し対策を行っていくことで、管理費用の縮減が図られ、現実的な町の予算に近づけることが可能となります。

照心橋の事業費の推移

各シナリオの累計費用



6) 優先順位の見直しをする橋梁

関根橋は、床版下面の剥離・鉄筋露出等により、判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」の橋梁です。本橋は、本宮小学校への通学路に利用されており、優先度は高く、また、百田川の河川改修により架替えを予定していることから、順位を修正しました。(41位→1位)



関根橋 (左上：終点側全景写真 左下：損傷写真 右：位置図)

6) 優先順位の見直しをする橋梁

鹿ノ子田跨線橋は、JR東北本線を跨ぐ跨線橋です。桁内部のひびわれ及び桁下面の鉄筋露出により判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」の橋梁ですが、架設後60年を経過しており、中性化による内部鉄筋の腐食により、かぶりコンクリートが剥落し、また、防護柵ボルトの脱落により、鉄道車両に被害を及ぼす可能性があるため、優先度が高いことから順位を修正しました。(8位→2位)



鹿ノ子田跨線橋 (左：起点側全景写真 右：損傷写真)

蛇ノ鼻橋は、主桁下面の鉄筋露出・うき等により、判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」の橋梁ですが、東北自動車道を跨ぐ橋梁であるため、優先度は高いと考えられます。また、本橋が架かる路線は1級市道小姓内線と県道大橋五百川停車場を結んでおり、交通量が多く重要度は高いことから順位を修正しました。(4位→3位)



関根橋 (左上：右側全景写真 左下：損傷写真 右：位置図)

6) 優先順位の見直しをする橋梁

堀ノ内橋は、既存部（鋼H桁）主桁の腐食等により、判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C（3）」の橋梁ですが、線支承のアンカーボルトに破断が確認されており、機能障害を生じている可能性が高いと考えられます。また、本橋が架かる路線は1級市道小田部・八幡線と県道本宮常葉線及び1級市道大山・松沢線（安達太良ドリームライン）を結んでおり、交通量が多く重要度は高いことから順位を修正しました。（17位→4位）

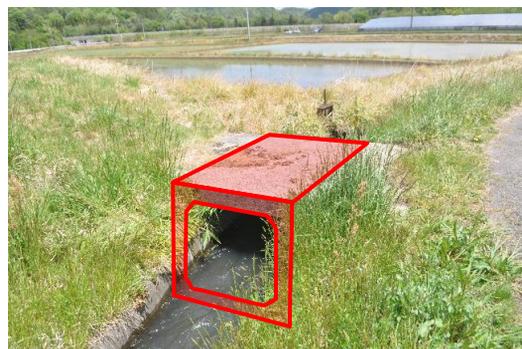


堀ノ内橋（左：損傷写真 右：位置図）

7) 撤去・集約化を検討する橋梁

青田原1号橋及び小山第一橋、五斗内橋は、1 m程度の幅の水路を跨ぐ橋梁であることから、補修対策が必要と判断された際には、ボックスカルバート（溝橋※の定義外）に機能縮小することを検討し、地域道路網の安全性・信頼性を確保すると共に、将来的な維持管理費用の縮減に努めて参ります。

※溝橋：道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するために盛土あるいは地盤内に設けられる構造物で、橋長2m以上かつ土被り1m未満のボックスカルバート。



小山第一橋（左：右側全景写真 右：機能縮小イメージ図）

8) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（5.対策内容と実施時期）
 （・構造物の諸元、・直近の点検結果及び次回点検年度、・対策内容、・対策の着手、完了予定年度）
 様式1-2による

※補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

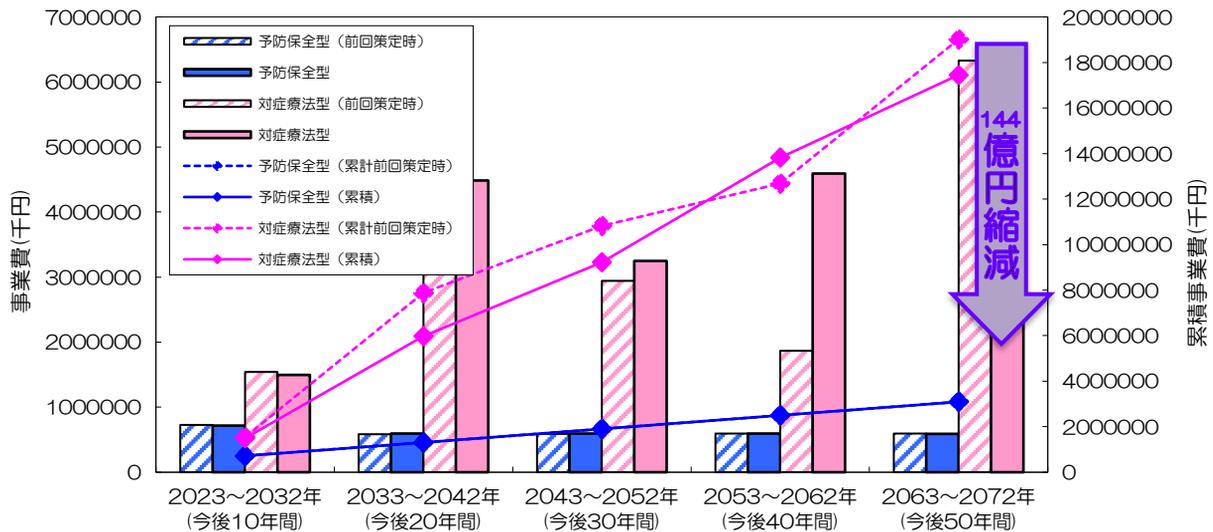
- 活用促進技術に指定されている新技術の例
 - 鋼橋の塗装：錆転換型塗装（登録番号）
 - コンクリート部材：断面修復工（登録番号）
 - 伸縮装置：（登録番号）

（6.対策費用の概算（・対策に係る全体概算事業費）は、様式1-2、各橋梁の長寿命化修繕計画による）

6. 長寿命化修繕計画による効果

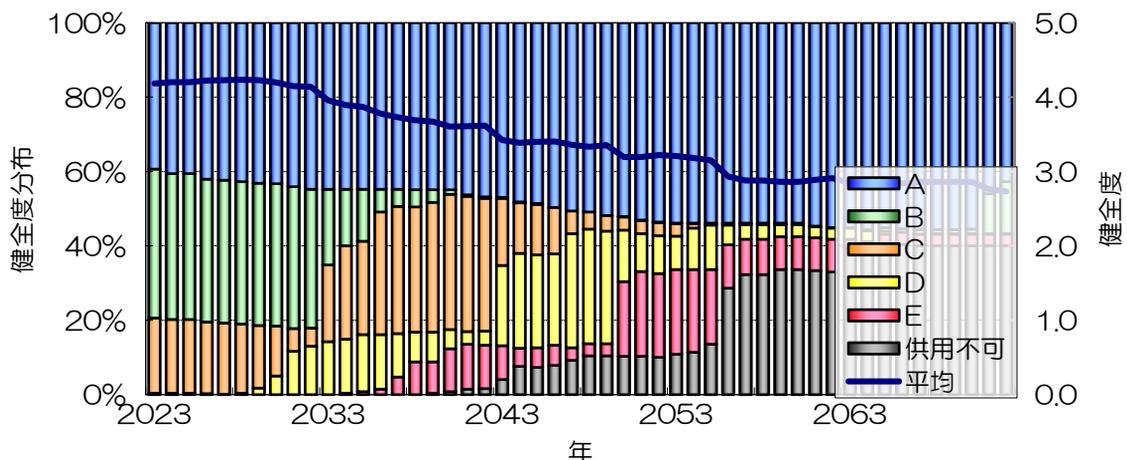
本宮市が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する172橋について、年間の予算制約額を0.60億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が175億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が31億円となり、コスト縮減効果は144億円（82.3%減）となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

本宮市 建設部 建設課 tel:0243-24-5392

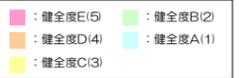
2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

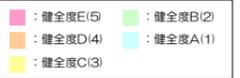
凡例：↔ 対策を実施すべき時期を示す。

↔下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期														合計(千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
前田第三橋	その他	高速側道18号線	11.6	1973	50	R2	I			点検						点検						
来ノ池第一橋	その他	高速側道19号線	11.6	1973	50	R2	I			点検						点検						
川原橋	その他	上関下・川原線	7.3	1975	48	R1	I			点検						点検						
堰ノ上橋	その他	白田・宮ノ下線	12.5	1983	40	R1	I			点検						点検						
石神橋	その他	小田部・五味内線	5.45	1989	34	R1	I			点検						点検						
長瀬橋	その他	原・高木線	2.8	1990	33	R1	I			点検						点検						
根柄橋	その他	名葉ノ内・堀田線	5	1993	30	R1	I			点検						点検						
馬場橋	その他	馬場・岩ノ入線	5.4	1975	48	R1	I			点検						点検						
葭池1号橋	その他	小田部・葭池線	6.4	1981	42	R1	I			点検						点検						
宮田橋	その他	白田6号線	12.75	1996	27	R1	I			点検						点検						
百内橋	その他	稲葉下・根回線	9.45	1982	41	R1	I			点検						点検						
大池橋	その他	池前・向山1号線	5.3	1975	48	R1	I			点検						点検						
松ヶ作1号橋	その他	根岸・堤崎線	9.5	1976	47	R1	I			点検						点検						
北池橋	その他	池前3号線	7.35	1981	42	R1	I			点検						点検						
寺内橋	その他	白岩・稲沢線	11.45	1990	33	R1	I			点検						点検						
宮ノ脇橋	その他	春日・渋池線	9.1	1990	33	R1	I			点検						点検						
関根橋	その他	松ヶ作18号線	9.45	1996	27	R1	I			点検						点検						
春日2号橋	その他	宮ノ脇・春日線	6	1975	48	R1	I			点検						点検						
高速側道5号橋	その他	高速側道5号線	4.5	1981	42	R1	I			点検						点検						
熊ノ木橋	その他	平内・熊ノ木線	2.56	1990	33	R1	I			点検						点検						
葭池2号橋	その他	堀ノ内・西明内線	2.57	1993	30	R1	I			点検						点検						
北原田橋	その他	北原田・山ノ神線	2.83	2012	11	R1	I			点検						点検						
来ノ池第二橋	その他	高速側道19号線	3.5	1973	50	R1	I			点検						点検						
一里壇橋	その他	一里壇1号線	2.56	1975	48	R1	I			点検						点検						
柵形橋	その他	兼谷平・柵形線	2.1	1975	48	R1	I			点検						点検						
坂ノ下橋	その他	白岩・稲沢線	4.6	1980	43	R1	I			点検						点検						
東笹田橋	その他	東笹田3号線	3.8	1980	43	R1	I			点検						点検						
堀切第一橋	その他	礼堂・堀ノ内線	3.76	1980	43	R1	I			点検						点検						
対馬内1号橋	その他	対馬内・堤崎線	3.4	1980	43	R1	I			点検						点検						
池前橋	その他	池前3号線	4.55	1981	42	R1	I			点検						点検						
平井5号橋	その他	平井5号線	2.9	1990	33	R1	I			点検						点検						
三枚田第二橋	その他	三枚田3号線	2.3	1990	33	R1	I			点検						点検						
滝池橋	その他	滝池1号線	2.1	2019	4	R1	I			点検						点検						
大谷下第二橋	その他	大谷下3号線	4.05	1973	50	R1	I			点検						点検						
大谷下第六橋	その他	青田原・西原線	4	1973	50	R1	I			点検						点検						
大谷下第五橋	その他	来ノ池1号線	4	1973	50	R2	I			点検						点検						
清水前第一橋	その他	清水前5号線	4	1975	48	R1	I			点検						点検						
大木内1号橋	その他	大木内・戸ノ内線	2.1	1968	55	R1	I			点検						点検						
竹ノ内橋	その他	大木内1号線	2.1	1968	55	R1	I			点検						点検						
東明石内1号橋	その他	硯石1号線	3.35	1971	52	R1	I			点検						点検						
摺鉢橋	その他	清水前・蛇ノ鼻線	3.1	1973	50	R1	I			点検						点検						
青田原第一橋	その他	平倉・石編田線	2.3	1973	50	R2	I			点検						点検						
東明石内2号橋	その他	東明石内6号線	4.25	1975	48	R1	I			点検						点検						
甲斐第一橋	その他	甲斐3号線	3.9	1975	48	R2	I			点検						点検						



番号	橋梁名	諸元							重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A=100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用				
		橋長 (m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計 (A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均 (B)					部材種別	健全度ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満		カルパート特異形式	評価③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)
0028	関根橋	5.60	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.80	1984	39	-	その他	0	0	5	0	0	5	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	55.0	1(41)	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	0	94.5	8.6	103.1	
0024	鹿ノ子田踏線橋	28.10	4	RC橋	RC 箱桁	2.00	1961	62	-	1級	0	5	0	10	0	15	30	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	91.7	2(8)	7	S	-	O	-	1	B	O	S	-	-	B	-	112.7	144.5	257.2
0005	蛇ノ鼻橋	55.00	3	RC橋	ラーメン橋	6.50	1973	50	-	2級	0	10	10	5	0	10	35	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	111.7	3(4)	7	S	-	O	-	1	B	O	S	-	-	B	-	89.7	23.4	113.1
0038	堀ノ内橋	7.90	2	PC橋	PC 床版橋その他	7.50	2000	23	-	2級	0	0	10	5	0	0	15	0.0	0.0	20.0	6.7	主部材	D(4)	108.3	4(17)	8	B	-	O	-	1	B	-	-	-	B	37	60.2	111.0	171.2	
0022	一本松橋	18.46	1	RC橋	H形鋼(不明)	3.00	1974	49	-	その他	0	5	5	0	0	10	20	0.0	60.0	35.0	31.7	主部材	D(4)	88.3	5(11)	5	S	-	-	-	0	C	O	S	-	-	B	-	39.0	7.9	47.0
0009	千代田橋	32.60	3	RC橋	RC T桁	4.00	1954	69	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	5.0	40.0	60.0	35.0	主部材	D(4)	75.0	6(2)	6	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.4	80.7	81.1	
0001	小池橋	41.60	3	PC橋	ラーメン橋	4.00	1973	50	-	1級	0	5	5	10	10	10	40	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	116.7	7(3)	7	S	-	O	O	2	A	O	S	-	-	B	-	2.6	79.0	81.6
0019	安達太良大橋	206.40	3	PC橋	ラーメン橋	7.50	2003	20	-	その他	5	15	10	0	0	10	40	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	101.7	8(5)	7	S	O	-	-	1	B	O	S	-	-	B	-	2.5	723.4	725.9
0013	三ツ池橋	41.80	3	PC橋	ラーメン橋	5.00	1973	50	-	その他	0	5	5	0	0	10	20	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	96.7	9(6)	7	S	-	-	-	0	C	O	S	-	-	B	-	2.6	93.5	96.1
0004	名郷踏線橋	42.40	1	PC橋	ホステン中空床版	6.75	2012	11	-	2級	0	5	10	5	0	15	35	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	96.7	10(7)	7	S	-	O	-	1	B	O	S	-	-	B	-	14.0	276.3	290.3
0016	平成大橋	263.00	4	鋼溶接橋	箱桁(不明)	6.50	2001	22	-	その他	5	15	10	0	0	0	30	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	91.7	11(9)	7	S	O	-	-	1	B	O	S	-	-	B	-	4.0	32.0	36.0
0036	下白旗橋	14.00	1	RC橋	RC床版橋(BOXカルパート)	12.00	1978	45	-	1級	0	0	15	10	0	15	40	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	90.0	12(10)	7	S	-	O	-	1	B	O	S	-	O	C	-	12.3	110.7	123.0
0025	五百川踏線橋	10.90	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.40	1962	61	-	1級	0	0	5	10	0	15	30	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	83.3	13(11)	7	S	-	O	-	1	B	O	S	-	-	B	-	12.3	110.7	123.0
0008	大森踏線橋	32.00	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	6.00	1995	28	-	その他	10	5	10	0	0	10	35	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	83.3	14(12)	7	S	O	-	-	1	B	O	S	-	-	B	-	0.4	90.2	90.7
0021	岩角橋	17.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1986	37	-	その他	0	5	5	0	0	10	20	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	71.7	15(13)	7	S	-	-	-	0	C	O	S	-	-	B	-	0.4	44.4	44.8
0002	富士内踏線橋	20.70	1	PC橋	プレテンT桁	7.50	1991	32	-	1級	5	5	10	10	0	15	45	50.0	80.0	90.0	73.3	主部材	C(3)	71.7	16(14)	7	S	O	O	-	2	A	O	S	-	-	B	-	12.3	110.7	123.0
0045	学校前歩道橋	19.30	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	0.00	2003	20	-	その他	5	5	0	0	0	10	20	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	71.7	17(15)	7	S	O	-	-	1	B	O	S	-	-	B	-	0.4	34.6	35.0
0020	滝ノ沢橋	16.30	1	PC橋	プレテン中空床版	7.50	2003	20	-	その他	5	5	10	0	0	10	30	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	50.0	18(16)	7	S	O	-	-	1	B	O	S	-	-	B	-	0.4	3.9	4.3
0032	輪ヶ淵橋	16.30	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	1.66	1978	45	-	その他	0	5	0	0	0	0	5	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	81.7	19(18)	9	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	1.0	28.1	29.1	
0003	弁天橋	40.20	1	PC橋	ホステンT桁	6.00	2001	22	-	1級	5	5	10	10	0	30	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	81.7	20(19)	9	A	O	O	-	2	A	-	-	-	B	50以上	0.4	3.4	3.9		
0006	小幡橋	20.01	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1971	52	-	2級	0	5	5	5	10	0	25	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	78.3	21(20)	9	A	-	O	O	2	A	-	-	-	B	48	0.4	35.7	36.1	
0017	竹ノ作橋	15.40	1	PC橋	プレテンT桁	6.50	1990	33	-	その他	0	5	10	0	0	15	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	66.7	22(21)	9	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.4	3.9	4.3		
0014	茂庭橋	15.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1973	50	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	40.0	55.0	45.0	46.7	床版	C(3)	63.3	23(22)	9	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.4	3.9	4.3	
0010	名台橋	23.60	1	PC橋	PC 床版橋その他	7.25	1997	26	-	その他	0	5	10	0	0	15	40.0	30.0	90.0	53.3	主部材	C(3)	61.7	24(23)	9	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.4	3.9	4.3		
0011	安達太良橋	37.40	2	PC橋	プレテンT桁	7.50	1990	33	-	その他	0	5	10	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	25(24)	9	A	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	0.4	3.4	3.9		
0043	京塚橋	8.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	8.30	1968	55	-	1級	0	0	10	10	0	20	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	83.3	26(25)	10	B	-	O	-	1	B	-	-	-	B	45	0.4	3.9	4.3		
0104	愛宕橋	10.45	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.50	1978	45	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	81.7	27(26)	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	15	0.0	0.0	0.0	
0039	耕網橋	8.00	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	6.00	1968	55	-	2級	0	0	10	5	0	15	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	76.7	28(27)	10	B	-	O	-	1	B	-	-	-	B	45	0.4	3.9	4.3		
0035	南原田第一橋	8.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1978	45	-	その他	0	0	10	0	0	10	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	73.3	29(28)	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	15	0.4	34.4	34.8		
0081	上野台第一橋	5.10	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	1.50	1975	48	-	その他	0	0	0	0	0	0	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	66.7	30(29)	10	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	12	0.0	45.9	45.9		
0031	茂庭第二橋	5.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.90	1973	50	-	その他	0	0	5	0	10	0	15	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	65.0	31(30)	10	B	-	-	O	1	B	-	-	-	B	50以上	0.4	26.2	26.6	
0041	柳宮橋	11.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.50	1980	43	-	2級	0	0	10	5	0	15	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	65.0	32(31)	10	B	-	O	-	1	B	-	-	-	B	17	0.4	40.2	40.6		
0044	昭和橋	11.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	6.10	1978	45	-	2級	0	0	10	5	0	0	15	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	63.3	33(32)	10	B	-	O	-	1	B	-	-	-	B	15	0.4	3.9	4.3	
0040	根岸橋	12.80	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	8.50	1989	34	-	2級	0	0	10	5	0	15	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	63.3	34(33)	10	B	-	O	-	1	B	-	-	-	B	26	0.4	3.9	4.3		
0027	北原田橋	5.10	1	RC橋	RC床版橋(BOXカルパート)	5.50	1982	41	-	2級	0	0	5	5	0	10	60.0	40.0	50.0	50.0																					

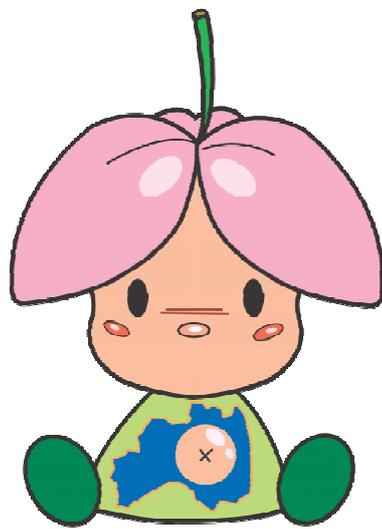


番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳										余寿命(年)	今後50年補修費用			
		橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計(A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均(B)	部材種別				健全度ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルパート特異形式		評価③	今後5年(百万円)	残り(百万円)	合計(百万円)
0012	前田橋	15.60	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1973	50	-	その他	0	5	5	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	86	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.4	3.4	3.9
0076	前田第三橋	11.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	50	-	その他	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	87	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0077	来ノ池第一橋	11.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.60	1973	50	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	88	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0101	川原橋	7.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1975	48	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	89	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0114	堰ノ上橋	12.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1983	40	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	90	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	20	0.0	0.0	0.0
0105	石神橋	5.45	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1989	34	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	91	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	26	0.0	0.0	0.0
0149	長瀬橋	2.80	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	3.30	1990	33	-	その他	0	0	5	0	10	15	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	30.0	92	経	B	-	-	0	1	B	-	-	0	0	C	27	0.0	2.7	2.7
0120	根柄橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	4.50	1993	30	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	93	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	30	0.0	0.0	0.0
0113	馬場橋	5.40	1	RC橋	RC 中実床版	2.00	1975	48	-	その他	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	94	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0103	葭池1号橋	6.40	1	RC橋	RC 中実床版	2.00	1981	42	-	その他	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	95	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	18	0.0	0.0	0.0
0115	宮田橋	12.75	1	PC橋	PC 床版橋その他	2.00	1996	27	-	その他	0	0	0	0	0	0	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	25.0	96	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	33	0.0	0.0	0.0
0118	百内橋	9.45	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1982	41	-	その他	0	0	5	0	0	5	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	20.0	97	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	19	0.0	0.0	0.0
0098	大池橋	5.30	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1975	48	-	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	98	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0110	松ヶ作1号橋	9.50	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.50	1976	47	-	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	99	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	13	0.0	0.0	0.0
0092	北池橋	7.35	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.00	1981	42	-	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	100	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	18	0.0	0.0	0.0
0048	寺内橋	11.45	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1990	33	-	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	101	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	27	0.0	0.0	0.0
0123	宮ノ脇橋	9.10	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1990	33	-	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	102	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	27	0.0	0.0	0.0
0112	関根橋	9.45	1	PC橋	PC桁橋(その他)	1.50	1996	27	-	その他	0	0	0	0	0	0	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	13.3	103	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	33	0.0	0.0	0.0
0122	春日2号橋	6.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.00	1975	48	-	その他	0	0	0	0	0	0	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	10.0	104	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	12	0.0	0.0	0.0
0157	高速側道5号橋	4.50	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	7.22	1981	42	-	その他	0	0	10	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	105	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0147	熊ノ木橋	2.56	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	6.50	1990	33	-	その他	0	0	10	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	106	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0130	葭池2号橋	2.57	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	7.80	1993	30	-	その他	0	0	10	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	107	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0127	北原田橋	2.83	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	7.20	2012	11	-	その他	0	0	10	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	108	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0138	来ノ池第二橋	3.50	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	3.50	1973	50	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	109	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	5.0	5.0	
0141	一里壇橋	2.56	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	3.00	1975	48	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	110	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0142	樹形橋	2.10	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	3.00	1975	48	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	111	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0049	坂ノ下橋	4.60	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1980	43	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	112	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0162	東笹田橋	3.80	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	3.00	1980	43	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	113	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0132	堀切第一橋	3.76	2	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	4.00	1980	43	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	114	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	3.8	3.8	
0170	対馬内1号橋	3.40	1	RC橋	RC 中実床版	4.50	1980	43	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	115	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0091	池前橋	4.55	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1981	42	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	116	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0133	平井5号橋	2.90	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	4.00	1990	33	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	117	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0144	三枚田第二橋	2.30	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	3.00	1990	33	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	118	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0172	滝池橋	2.10	1	RC橋	RC橋(BOXカルパート)	3.00	2019	4	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	119	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0070	大谷下第二橋	4.05	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.30	1973	50	-	その他	0	0	5	0	0	5	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	28.3	120	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0053	大谷下第六橋	4.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.10	1973	50	-	その他	0	0	5	0	0	5	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B																		

優先順位一覧 制約0.60億円

■ : 健全度E(5)	■ : 健全度B(2)
■ : 健全度D(4)	■ : 健全度A(1)
■ : 健全度C(3)	

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標								総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A*100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用		
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材種別	健全 度 ランク					緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未 満	カル パート 特異形 式	評価 ③		今後5 年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)
0156	南原田3号橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルパート)	2.10	1981	42	-	その他	0	0	0	0	0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	0.0	171	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	
0154	苗代田第一橋	2.30	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルパート)	2.00	1981	42	-	その他	0	0	0	0	0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	0.0	172	経	C	-	-	-	0	C	-	-	0	0	C	50以上	0.0	0.0	0.0	



本宮市橋梁長寿命化修繕計画

令和5年3月